

広報紙 VOL.38

# 水道だより

編集・発行  
昭島市水道部  
〒196-0025  
昭島市朝日町4-23-28  
TEL 042-543-6111  
FAX 042-543-6118  
平成30年 3月



## 「あきしまの水」ブランドづくり ～平成29年度の取組みを紹介します～

昭島市では、平成27年度より「深層地下水100%水道水のある生活」に着目し、「あきしまの水」ブランドづくりに取り組んでいます。このブランドを通して、昭島市が「魅力的なまち」であることを市内外に発信することが目的です。今回は、平成29年度の主な取組みをご紹介します。

### ■各種イベントで「あきしまの水」ブランドのPRを行いました。

「あきしまの水」ブランドをPRするために、今年度も多くのイベントに出展しました。

特に、11月11日(土)、12日(日)に開催された産業まつりでは、「あきしまの水」ブランドPRブースを設けて出展したほか、特別企画として、「あきしまの水」呈茶や「あきしまの水」と拝島ねぎの薬膳セミナーを実施し、「あきしまの水」をたくさんの方に身近に感じていただきました。

### ■『夢つなぎ人 第3版』が発行されます。

「あきしまの水」を与えてくれる自然や環境を保全してくれる人々に感謝し、「あきしまの水」を次世代に残すために活動している人の「未来に向けた熱い思いと夢」を紹介している冊子、『夢つなぎ人』。その第3版が、3月より市施設及び市ホームページ等で閲覧できます。ぜひご覧ください。



拝島ねぎと「あきしまの水」薬膳セミナーの様子



「あきしまの水」顔出しパネルでの撮影

### 【シンボルマークとキャッチフレーズ】



- ・キャッチフレーズはThanks to youで、「ありがとう」「あなたのおかげ」などの意味があり、「you」は恵みを与えてくれる自然、水を大切にする人、周囲の環境を保全する人びとを表します。
  - ・シンボルマーク(左図)は、長く使い続けるためにシンプルな形です。白い部分は地上(水のある生活)を、ブルーの部分は湧き上がる深層地下水を表します。カラーは、ウォーターブルーのほかにパッションオレンジ、リーフグリーンがあります。
- ※「あきしまの水」ブランドづくりに関するお問い合わせは、市役所産業活性化課(☎544-5111内線2282)までお願いします。

も	1 P 「あきしまの水」ブランドづくり ～平成29年度の取組みを紹介します～	3 P 安心してそのままお飲みいただけます 水道施設の仲間たち
く	2 P 第二次昭島市水道事業基本計画を策定しました 水道のことを勉強してみませんか ～水道施設見学・出前講座のご案内～	4 P 雨水貯留槽設置助成金をご存知ですか 引越しの際にはご連絡を 水道管等の凍結予防～厳しい寒波を経験して～
じ		

## 第二次昭島市水道事業基本計画を策定しました

水道を利用している皆様に、必要とするときに必要とするだけの安全で高品質な水道水を安定してお届けするためには、水道施設を常に良好な状態に保ち、施設の運転状況や水質の安全性を常に監視し続ける体制を維持しなければなりません。そのためには、将来の経営環境を見通して、安定した経営基盤を築き、計画的な事業運営を行うことが必要です。

水道部では、計画的な事業運営のより所として平成19年度末に初めての水道事業基本計画を策定しましたが、その基本計画も策定から10年が経過し、計画期間が満了してしまうことから、本年3月に平成30年度からの10年を計画期間とする第二次水道事業基本計画を策定しました。

新しい基本計画は、学識経験者、関係団体の代表者、公募市民からなる策定委員会の審議を経て策定したもので、昭島市の水道事業の将来像を「昭島の地下水（たから）とともに 未来へ築く 確かな水道」と定め、これからの10年間に取り組むべき課題と施策を明らかにしたものです。

この将来像は、深層地下水100%の水源に感謝し、水源の保全に努めて確かな水量と水質を確保しつつ、災害にも負けない堅牢な水道施設で確実な運転を維持し、様々な経営環境の変化にも柔軟に対応できる確かな経営基盤と強い市民連携を有する事業体を目指して、未来に向かい着実に体制を築いて行くことを表したものです。具体的な施策体系は、右の図のとおりです。

なお、第二次水道事業基本計画は、水道部ホームページ（<http://www.city.akishima.lg.jp/150/>）の水道事業基本計画の関連ファイルからご覧いただくことができます。是非、ご覧になってください。

昭島の地下水（たから）とともに  
未来へ築く  
確かな水道

分類	目標	基本方針	施策
安全	安全な水道	(1) 安全管理体制の強化	①水道システム管理の確立 ②自己検査体制の充実
		(2) 給水水質の品質向上	①直結給水の促進 ②鉛製給水管布設替えの推進

分類	目標	基本方針	施策
強靱	災害時にも頼れる水道	(3) 災害対策の推進	①水道施設耐震化の推進 ②災害対策マニュアルの充実
			①応急給水体制の整備 ②応急復旧体制の確立

分類	目標	基本方針	施策
持続	持続可能な水道	(4) 安定給水の継続	①水源の適正管理 ②最適な水道施設管理の確立
		(5) 健全経営の維持	①業務の効率化 ②技術・人材の確保 ③中長期的な財源確保
		(6) 市民との連携の推進	①積極的な情報提供の継続 ②環境保全への貢献

## 水道のことを勉強してみませんか ～水道施設見学・出前講座のご案内～

### 水道施設見学

安全でおいしい昭島の水道水がお客様の蛇口に届くまでの水道の仕組みについて、勉強してみませんか。

水道部では、東部配水場の施設見学を実施しています。施設見学では、職員が施設の機能や水道の仕組みについてわかりやすく説明いたします。

施設見学は、個人、団体を問わず受け付けておりますので、お気軽にご利用ください。

### 水道出前講座

「水道のことを知りたいけれど、水道部まで行けない。」そんなお客様のために水道出前講座があります。水道出前講座は、職員がお客様の希望の場所にお伺いし、水道のことについてわかりやすく説明します。

自治会や市民グループの研修会などに、ぜひお声をかけてください。

### 水道施設見学・水道出前講座の申込み方法

事前に業務課庶務係（☎543-6111）までご連絡いただき、実施日時等を調整した後、申込書を提出してください。なお、申込書は、水道部ホームページの施設見学の関連ファイルからダウンロードすることができます。





## 安心して そのまま お飲みいただけます

### 放射性物質の検査結果も安心です

昭島市の水道水は、水道法に基づく水質検査項目のすべてについて水質基準に適合しています。また、福島第一原子力発電所の放射能漏れ事故以降、放射性物質についても定期的に検査を行い、安全性を確認しています。

昭島市の水道水は、地下70メートル以上の深層地下水を水源にしています。深層地下水は、降雨の影響を直接受けず、地層がろ過の役目となるうえ、適度なミネラル分を加えてくれるため安全性が高く、おいしい水質の水道水となります。

### 【最近の放射性物質検査結果】

採水日	検査日	浄水系	ヨウ素131	セシウム137	セシウム134
平成30年 2月13日	平成30年 2月13日	東部系	検出限界未満	検出限界未満	検出限界未満
			(0.6Bq/kg未満)	(0.6Bq/kg未満)	(0.5Bq/kg未満)
		西部系	検出限界未満	検出限界未満	検出限界未満
			(0.6Bq/kg未満)	(0.6Bq/kg未満)	(0.4Bq/kg未満)

- ※ 検出限界とは、( )内の濃度未満で検出されなかったという意味です。
- ※ 検出限界は、測定時の周辺環境により変化します。
- ※ Bq (ベクレル) とは、放射能の量を表す単位です。

### 水道水の味が気になる方は

水道水は、気温や水温などの条件により塩素臭を強く感じたり、給水栓や蛇口の設置場所などの条件により様々な臭いを感じたりすることがあります。そんなときは、次のような工夫をお勧めします。ただし、いずれの方法も残留塩素がなくなりますので、その日のうちに冷やして飲むようにしてください。

#### ～くみ置きによる方法～

水道水をくみ置き、一晩くらい放置して消毒塩素を蒸発させます。ポイントは、少し放水した後に水をくむこと、容器のフタを完全に閉めないで水を空気に触れさせることです。

#### ～炭を使う方法～

水1リットルに対して100グラム位を目安に備長炭か竹炭を入れます。炭は煮沸し、天日干しをしてから使用します。炭は1ヶ月に1回程度煮沸し、天日干しすることにより再利用できます。



## 水道なんでもシリーズ

### ● 水道施設の仲間たち ●

#### Vol. 5 水質監視路上局

昭島市では、市内7箇所に配水監視施設である水質監視路上局を設置して、7項目（水圧、残留塩素、濁度、色度、pH値、伝導率、水温）の水質を24時間自動監視しています。

水質監視路上局は昭島市の端に点在しています。これは、配水場から配水された水が市域の端まで行きわたっていることを確認するためで、市内の隅々まで適切な水質で配水されていることをデータで計測できます。

計測されたデータは、東部配水場の操作室に送信されており、職員が24時間体制で水質の安全確認を行い、いつでも対応できるようになっています。



水質監視路上局の外観と内部の検査計器

## 雨水貯留槽設置助成制度をご存知ですか

雨水貯留槽とは、屋根に降った雨水を貯める容器で、貯めた雨水を植木への水やりや庭の水まきなどに利用することにより節水に役立ちます。設置も雨どいから管を接続するだけで簡単です。

設置助成金は、昭島市内に所有又は使用している建物に雨水貯留槽を設置する場合に、1基当たりの購入金額（設置費用は含みません）の3分の2に相当する金額（限度額3万5千円）を個人に対して助成するものです。

なお、雨水貯留槽は、ホームセンターや建材店で購入できます。

※市税等に未納がある場合は、助成を受けられない場合があります。



設置する場合は事前にご相談ください  
 ご相談は、工務課給水係へ  
 ☎543-6111

## 引越しの際にはご連絡を

3月は、進学や就職、転勤など新しい生活のスタートに向けて引越しが多くなる時季です。

さて、最近引越しをされた方、間もなく引越しをされる方、水道の使用開始や中止のご連絡はお済みですか。お引越しの際には、忘れずに水道部までご連絡をお願いします。

### ◇使用を中止するとき（転出・転居）

次のことをお知らせください。

- ①お客様番号  
（検針票や領収書で確認してください）
- ②水道の使用場所・氏名・引越し日・引越し先

### ◇使用を開始するとき（転入）

お電話をいただくか、郵便受けや玄関などに置かれている「水道使用届書」に必要事項をご記入の上、同封の封筒（切手不要）により郵送してください。

※電話によるご連絡は、休日を除く月曜日から金曜日の8時30分から17時15分までをお願いします。

※インターネット（東京電力引越れんらく帳）もご利用いただけます。

東京電力引越れんらく帳



ご連絡・お問い合わせは、業務課料金係へ  
 ☎ 543-6111 FAX 543-6118  
 ※音声ガイダンスに従い該当する番号を入力してください

## 水道管等の凍結予防 ～厳しい寒波を経験して～

今年の1月、2月は、記録的な寒さに見舞われました。都内でも1月25日には48年ぶりに氷点下4.0度まで下がり、また、1月22日から29日にかけては34年ぶりに8日連続で最低気温が氷点下になりました。

昭島市内でも水道管や給湯器の凍結による断水や漏水が多数発生しました。水道部では、夜間や休日の電話対応、空き家の閉栓、応急給水袋の配付などの対応を行いました。不便な思いをされた方も多数あったことと思います。

そこで、水道管等の凍結防止対策をご紹介しますので、ちょっと先にはなりますが来シーズンの参考にしてください。

まず、給湯器は、水抜き栓や凍結防止機能がありますので説明書等で良く理解しておきましょう。

水道の手軽な凍結防止対策としては、就寝前に蛇口から少量の水を出したままにしておくことが有効です。水道料金をご負担いただくこととなりますので、風呂桶に貯めるなどして無駄なく使ってください。蛇口、水道メーター、給湯器の水道管等には、タオルを巻くなどして保温する対策も効果があります。また、凍結防止用の便利アイテムもいろいろあるようですので試してみてください。

なお、日本気象協会 (<https://tenki.jp/>) では水道凍結指数を公表していますので参考にしてください。